

## 編集後記

神奈川県青少年指導者養成協議会では、平成 17 年 3 月に「子どもと大人の参画関係 ～ 子ども・若者が主体的に参画するための活動事例集～」を発行しました。この冊子では、各地域で子ども・若者が主体的に参画している活動事例を集めて掲載しました。特に子ども・若者の活動を支援する大人がどのように関わるのかに焦点を当てています。

今年度は、元気な地域社会で子ども・若者は健やかに育つという考え方を基本としています。「なぜ若者の参画なのか」では、以下のことについて、提言しています。地域の住民間の関係性が薄れてしまっている現在、本来の地域社会と言えなくなってしまうところが多くなっています。そこで地域に住んでいる若者が、若者の特性を生かして子ども活動に主体的に取り組み、子ども・若者が望んでいることを実現してほしいと考えました。その際に大人の力が必要になれば、大人を巻き込むことで、地域住民に共通の話題(あるいは課題)を提供することができます。そして皆で知恵を絞り、汗をかいて活動することで地域住民の関係性を深め、地域社会の活性化にもつなげていくことを考えています。

「若者に使ってほしいプログラム集」では、地域の若者が取り組んでほしい活動プログラムを研究し提言しました。多くの若者が各地域で取り組んでいただきたいと考えています。また地域の大人も若者の活動の意義を理解して、支援をしていただきたいと思います。

「若者が主体的に参画している活動事例」では、いくつかの団体を訪問し取材させていただいた後に、代表の方に活動内容について執筆していただきました。また専門部会の委員の若者にも、自分が関わっている活動について、執筆してもらいました。お忙しいところありがとうございました。

「調査結果のまとめ」では、平成 17 年 7 月末に、各市区町村青少年主管課及び青少年関係機関・団体に対して、「平成17年度神奈川県青少年指導者養成協議会専門部会に係る調査 青少年団体、ジュニアリーダー等について」という調査依頼をして、御回答をいただいたものについてまとめてあります。御協力ありがとうございました。これらの調査結果では、やはり地域で活動しているジュニアリーダーの団体がほとんどでした。調査結果を見るといろいろな課題を抱えながら活動していることがわかります。今後活発な活動を展開していくために、この活動プログラム集をぜひ利用していただきたいと思います。

「資料」では、若者が活動に利用できる施設情報を掲載し、また施設を実際に利用するにあたって必要な留意点をまとめてありますので、お読みいただければお役に立つと思います。

この活動プログラム集を利用して、多くの地域で活動が立ち上がり、元気な地域社会に変わっていくことを期待しています。

平成 18 年 3 月

神奈川県青少年指導者養成協議会 事務局

平成 17 年度神奈川県青少年指導者養成協議会 専門部会委員

< 委 員 >

相模原市生涯学習部青少年課	主 任	高野 靖彦
厚木市市民協働部青少年課	主 査	櫻井 亘
渋谷ファンイン ユースワーカー		岩間 文孝
神奈川県ジュニアリーダー大会実行委員長		増井 保幸
横浜国立大学教育人間科学部心理発達コース		仲里 歌織
県立清川青少年の家	副主幹	中川 賢彦

< 事務局 >

県立青少年センター

青少年支援部長兼指導者育成課長	横田 直
副主幹	川手 隆生
副主幹	日吉 教之

(この冊子は上記委員に検討していただいて作成しました。)

編 集 神奈川県青少年指導者養成協議会

発 行 平成 18 年 3 月

神奈川県立青少年センター

〒 220-0044 横浜市西区紅葉ヶ丘 9-1

電話 045-263-4466

F A X 045-242-8190



M

M

M